

2024年2月18日～25日に南信州地域で実施
住民参加型

野生動物への餌付け ストップキャンペーン

果実や野菜の残渣・生ゴミがカラスの餌に



追い払うのは対症療法で根本解決にならない



商品にしない果実も摘果する



餌になりそうな果実や
野菜は土に埋めて
カラスに発見させない

冬に餌資源を減らす事が
カラスの個体数削減に繋がる



ゴミにネット
をかぶせる

野生動物にとっての餌資源を、餌の乏しい冬場に徹底的に管理し、効率的に野生動物の個体数をコントロールすることが「野生動物への餌付けストップキャンペーン」の目的です。本キャンペーンには、畑の農作物の残渣をきちんと処分する（少なくとも土に埋める）、庭にできた果実を摘果する、生ごみを徹底的に管理するといった、住民の皆様のご協力が必要です。このような作業を日常的に行うのは大変ですが、餌の乏しい冬場に一齐に行えば、一週間だけでも効果があると考えられます。この取り組みが、人間と野生動物の共生の一助になります。ぜひ、住民の皆様のご参加をお願いします。

【問い合わせ先】 飯田市鳥獣被害対策協議会（飯田市農業課内） TEL21-3217